

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた単元構想〈中・総合〉

特別研修員 総合的な学習の時間 青山 崇（中学校教諭）

単元名 『地域を好きになり、地域に学び、地域の発展に関わろう』（第2学年） 全30時間計画

単元のねらい

職場体験や桐生に関わる人にインタビューをすることで桐生の魅力や課題解決への取組について情報を収集し、情報誌にまとめる活動を通して、将来に向けてこれからの自分の生き方や桐生について見つめ直すことができるようにする。

地域の人材や物的資源を活用した単元構想

本単元では、桐生の魅力や課題について追究し、情報誌としてまとめ、発信していく学習を行います。つかむ過程で、群馬県観光物産課の「ぐんまウェルカムサポーターズ」の活動内容について理解し、その一員になることで、桐生の魅力や課題を更に追究しようとする意識を高め、桐生の発展について考えるきっかけにします。追究する過程で、桐生市観光交流課や社会福祉協議会の方を講師として招き、これまでに体験したことや桐生に対する思いを話してもらうことで、現場の生の声を情報として収集することができ、桐生の魅力や課題解決への取組を深く理解することに役立てます。また、校長先生や桐生市観光交流課の方に情報誌の作成についてのアドバイスもしていただくことで、桐生の魅力をより分かりやすく発信できるようにしていきます。

過程	主な学習活動	探究課題への興味・関心
つかむ (3)	<p>1. 探究課題と出会い、単元の課題を把握する。</p> <p>①探究課題と出会う 生徒が感じている桐生の魅力や課題を共有する。</p> <p>②単元の課題を把握する 単元の課題をつかむ。</p> <p>単元の課題 ぐんまウェルカムサポーターズの一員として、桐生の魅力や課題について追究し、情報誌にまとめ、桐生の発展のために発信しよう。</p> <p>③追究の見通しをもつ 桐生の魅力や課題の関連性に気付かせる。</p>	<p>○1年次に行った桐生についてのアンケート結果を基に、桐生の魅力や課題について追究していくようにする。</p> <p>○ぐんまウェルカムサポーターズの一員になることで、主体的に考えられるようにしていく。</p> <p>「ぐんまウェルカムサポーターズ」 群馬県観光物産課の企画で、群馬を訪れる人に対して、一人一人ができる「お・も・て・な・し」を実践していくもの。</p>
追究する ① (8)	<p>2. 単元の課題に基づき個人・グループ等での課題を設定し、追究する。</p> <p>課題 桐生の魅力を桐生に暮らす人や桐生を訪れる人に発信するために、桐生の魅力を詳しく知るにはどうしたらよいだろうか。</p> <p>④まとめ・表現 事業所の特徴をまとめる。</p> <p>①課題の設定 職場体験でのインタビューの内容を考える。</p> <p>③整理・分析 事業所への質問を再考する。</p> <p>②情報の収集 事業所の特徴を調べる。桐生の魅力や現在の取組について講師から話を聞く。</p> <p>職場体験で収集した桐生の魅力を情報誌にまとめよう！</p> <p>＜桐生市観光交流課の方から情報収集＞</p>	<p>地域の人材を活用①</p> <p>○桐生市観光交流課や社会福祉協議会の方を講師として招き、桐生の魅力や現在の取組について話をもらうことで、桐生の今後について考えるきっかけとなるようにする。</p> <p>職場体験での情報収集の工夫</p> <p>○職場体験が桐生の魅力について有効な情報収集の場となるように、事業所の方にする質問内容を再考させる。</p>
追究する ② (11)	<p>3. 新たな課題を見だし、継続して追究する。</p> <p>課題 桐生の魅力を桐生に暮らす人や桐生を訪れる人に発信するための情報誌を作成するにはどうしたらよいだろうか。</p> <p>④まとめ・表現 情報誌としてまとめたことを発表する。</p> <p>①課題の設定 情報誌を作成するために必要なことを考える。</p> <p>③整理・分析 新たに発見したことをまとめる。</p> <p>②情報の収集 桐生の魅力を効果的に表現するための情報を収集する。</p> <p>伝えるって難しい！情報誌をもっとよいものに改善して発信したい！</p> <p>＜発表会＞</p>	<p>情報の発信・伝達</p> <p>○作成した情報誌を基に発表会を行い、桐生の魅力を共有させる。また、桐生の魅力を十分伝えられたか検討することで、新たな課題に気付かせる。</p>
追究する ③ (7)	<p>4. 新たな課題を見だし、継続して追究する。</p> <p>課題 桐生の魅力を桐生に暮らす人や桐生を訪れる人に発信するにはどうしたらよいだろうか。</p> <p>④まとめ・表現 情報誌を発信する。</p> <p>①課題の設定 安全に情報を発信するための課題を考える。</p> <p>③整理・分析 情報誌を改良し、発信方法を考える。</p> <p>②情報の収集 情報モラルと情報誌の改善点を考える。</p> <p>すくーる桐生</p> <p>＜桐生市観光交流課の方からビデオによるアドバイス＞</p> <p>＜作成した情報誌＞</p>	<p>情報活用能力の育成</p> <p>○情報が社会に与える影響や危険性について考えさせることで、情報モラルへの意識を高められるようにする。</p> <p>地域の人材を活用②</p> <p>○校長先生と桐生市観光交流課の方に情報誌を評価してもらい、更によいものに改善することで、桐生の魅力について深く理解できるようにする。</p>
まとめる (1)	<p>5. 単元全体の学習を振り返る。</p> <p>○これまでの学習を振り返り、将来の自分の生き方や地域に対する思いをまとめる。</p>	<p>地域の発展を考える生徒の育成</p> <p>○地域に向けた思いをまとめさせることで、地域の発展のために自分にできることを考えられるようにする。</p>

指導例：『地域を好きになり、地域に学び、地域の発展に関わろう』（第2学年 第3時）

1 本時のめあてをつかむ。

○前時までの内容を基に、めあてを設定する

- T：1年生のとき、桐生の魅力や課題について自分がどのようなことを考えたか覚えていますか？
- S：歴史やグルメについての魅力が多かったです。課題は、少子高齢化や商店街が寂しいという意見がありました。
- T：多くの意見が出たけど、それらにはどのような関連があるかな？
- S：関連については考えたことなかったな。
- T：関連性に気付くと桐生の魅力や課題についての理解が深まるよ。

めあて みんなが感じた桐生の魅力や課題を関連付けて、ウェビング図にまとめてみよう。

2 これまでの学習を踏まえて、桐生の魅力や課題を再考する。

○思い付く順に、桐生の魅力と課題を三つずつ挙げる。

- T：みなさんが感じている桐生の魅力を三つ書き出してみましょう。
- S：一番の魅力は、歴史的な建造物がたくさんあることかな。桐生天満宮や有鄰館、のこぎり屋根の工場が特に印象に残っているな。
- S：桐生八木節祭りかな。毎年必ず行くし、やぐらの周りがすごく盛り上がるよね。ダンス八木節に出たことあるよ。
- S：おいしい食べ物屋が多いよね。ソースカツ丼に焼きまんじゅう。
- T：そうだね。次は、課題も三つ挙げてみましょう。
- S：やっぱり少子高齢化が進んでいることだと思うな。
- S：商店街はシャッターが閉まっているお店が多くて、後を継ぐ人がいないのかな。

○グループで意見交流を行う。

- T：4人グループになって、意見交流してください。
- S：古い建物をリノベーションして活用しているお店が増えてきたよね。



<意見交流の様子>

- S：よく映画やドラマのロケ地になっているよ。
- S：若者が集まるお店が少ないから作ってほしいよね。
- ウェビングの技法を用いて、クラス全体でまとめる。**
- T：各班で考えた桐生の魅力や課題を発表してください。関連のあるものを線でつないでいきましょう。
- S：「歴史」と「リノベーション」は関連があるよね。
- S：魅力や課題はつながっていて、分かりやすくまとめられたな。
- S：まとめた図を見ると、共感できる場所があったり、初めて知ることもあったりするな。

3 本時のまとめ・振り返りをする。

○ウェビング図にまとめて感じたことをワークシートに書く。

- ☆何もないと思っていた桐生に、こんなにもたくさんの魅力があることに改めて気付いたな。もっとPRしていくべきだよ。
- ☆ウェビング図にまとめてみると桐生の課題が見えてきたな。課題を解決すれば、人口も増えて町が活性化できると思うな。

指導のポイント

1年次からの学習のつながりを想起させ、めあてを設定できるようにする

- 1年生の学習で考えた桐生の魅力や課題を確認する。
- 桐生の様々な魅力や課題の関連性に目を向けさせ、本時のめあてを設定できるようにする。

個人の課題意識を高める

- これまでに得た桐生についての知識や情報を基に、桐生の魅力と課題を思い付く順に三つずつ挙げさせて、桐生の特徴を再考させる。

桐生の魅力や課題を多面的に捉えさせる

- グループで意見交流を行うことで、異なる視点から課題を捉え、多面的な見方ができるようにする。

桐生の魅力や課題の関連について整理する

- ウェビングの技法を用いて、生徒たちの思考を可視化し、桐生の魅力や課題のイメージを広げさせる。

課題追究の見通しをもつ

- 桐生の魅力や課題への理解を深めることで、今後の探究的な学習へつなげていく。

指導例：『地域を好きになり、地域に学び、地域の発展に関わろう』（第2学年 第9時）

1 本時のめあてをつかむ。

○前時までの内容を基に、めあてを設定する。

T：職場体験を行う事業所の方への質問は考えられましたか？

S：以前まとめた桐生の魅力や課題を意識して考えました。

T：その質問をすることで、新たな魅力の発見や、課題解決への取組に迫ることができそうですか？

S：迫れるかと言われると、自信はないです。

T：では、質問の内容を見直して、よりよい質問にしていきましょう。

めあて 桐生の新たな魅力の発見や課題解決への取組に迫る質問になるように、質問の内容を再考しよう。

2 本時の中心となる事業所への質問を再考する活動を行う。

○隣の席の人とペアになって模擬インタビューを行い、質問を評価し合い、改善点を考える。

<評価について>

T：事業所の人になったつもりで回答し、評価については、1～4の4段階で行ってください。

S：事業所のことを詳しく知らないけど答えられるかな？

T：それで簡単に答えられてしまう質問なら、わざわざ職場体験で質問する必要はないよね？

S：誰でも答えられる質問では意味がないのか。

S：今の質問では、誰でも簡単に答えられてしまいそうだな。

○同じ事業所、同じ職種同士で、模擬インタビューと評価を行う。

T：同じ事業所や職種同士の人で質問をし合い、改善点を考えてください。

S：「工夫していること」を付け加えて質問するとよいかもかもしれない。

S：「はい」「いいえ」で答える質問ではなく、具体的に答えてもらえる質問にすると、事業所の方の気持ちを聞いてよいよね。



<模擬インタビューの様子>

○質問の最終案を考える。

T：改善点を加えて、最終案をまとめてください。

S：「お店の特徴は何ですか？」という質問に、「リノベーションした理由と効果」を付け加えて聞くと、事業所の魅力について詳しく知ることができそうだな。

S：「お客様に来てもらうためにどのような工夫をしていますか？」という質問に「桐生は少子高齢化が進んでいますが」という内容を加え、桐生の課題である少子高齢化に対して具体的にどのような取組をしているのか聞いてみようと思う。

3 本時のまとめ・振り返りをする。

○質問を改善するに当たって気付いたことをワークシートにまとめる。

☆事業所の魅力や課題を詳しく知ることが、実は桐生の魅力や課題を追究することに関係があるのだな。

☆質問を改善するために事業所の情報を集めていると、お店が桐生市のことをPRしていることに気付いた。のこぎり屋根についてもっと詳しく聞いた方がよいと思った。

指導のポイント

前時までの内容を想起させ、めあてを設定できるようにする

- 前時までの学習で考えた事業所への質問内容を確認する。
- 質問内容が、桐生の魅力や課題と関連しており、桐生の魅力や課題解決への取組を追究するものになっているか検討させ、本時のめあてを設定できるようにする。

質問内容を互いに評価させ、課題意識を高める

- 実際に考えた質問を模擬インタビューさせ、互いに回答を考えて質問の評価をさせる。
- 質問内容を再考し、桐生の魅力や課題解決について新たに知ることができる質問を考えさせる。

質問の精度を高めさせる

- 同じ事業所や職種同士で模擬インタビューすることで、より桐生の魅力や課題解決に迫る質問になるよう改善させる。

質問の再考を行う

- 改善点を付け加えて、桐生の魅力を追う質問を再考させ、最終案としてまとめさせる。

桐生の魅力を追うことと職場体験学習との関連を考える

- 職場体験学習は、桐生の魅力を追うための情報収集の場であることに気付かせる。

指導例：『地域を好きになり、地域に学び、地域の発展に関わろう』（第2学年 第25時）

1 本時のめあてをつかむ。

○情報誌の評価を校長先生にさせていただき、よりよいものにするためのアドバイスを聞く。

T 1：校長先生には先日の発表会の様子を見ていただいたので、今日は情報誌の評価をしていただきます。

T 2：みなさんが作った情報誌はとてもよくできていました。これを誰に読んでもらいたいですか？ターゲットは誰ですか？

S：桐生で暮らしている人やこれから桐生を訪れる人です。

T 2：それなら読む人のことを考えて、桐生の魅力を十分アピールできているかというところを見直すと更によくなりますよ。

○桐生市観光交流課の方にも情報誌の評価をさせていただき、よりよいものにするためのアドバイスを聞く。

T 3：情報誌「すくーる桐生」、とてもよくできていますが、桐生の魅力を更に伝えるには、読んだ人の心をつかむキャッチコピーを考えたり、長い説明をコンパクトに表現したりすると



<校長先生からのアドバイス>



<桐生市観光交流課の方からのアドバイス>

めあて 校長先生と桐生市観光交流課の方のアドバイスを基に、桐生の魅力をより効果的に伝える情報誌にするための改善点を考えよう。

2 情報誌の改善点を考える活動を行う。

○アドバイスを基に、情報誌の修正方法について、教師の説明を聞く。

T 1：誌面を赤字で修正してください。例えば、この図を大きくして目立つようにして、余分な文章を削ります。

S：修正するところを探して、更により情報誌にするぞ。

○情報誌の改善点について、グループで考える。

T 1：同じページや同じ職種の人と班を作り、アドバイスを基にグループディスカッションしながら改善点を考えてみよう。

S：桐生を訪れる人は場所を詳しく知らないから、分かりやすい地図を入れよう。 <改良点を考えている>

S：桐生で暮らしている人には、職場体験でインタビューしたときに知った、あまり知られていない情報を伝えられるとよいよね。

T 2：みなさんが読む立場なら、という視点でも考えてみてください。

S：キャッチコピーのあるところとないところを見比べると、やっぱりある方が読む人を引き付けるから、付けた方がよいね。

S：今はスマホを持っている人が多いから、QRコードを載せると、ホームページですぐに情報を調べられて、とても便利になるね。

3 本時のまとめ・振り返りをする。

○改良点のポイントをワークシートに書く。

☆読む人の興味を引き付けるキャッチコピーを考えることができたぞ。

☆働いている人の「桐生が好き」という思いを情報誌を読んでくれる人に伝えたいな。

指導のポイント

めあてを設定できるようにするための工夫①

○校長先生に、桐生市教育委員会の基本指針である「桐生を好きな子どもの育成」を踏まえ、桐生の魅力を十分アピールできているか生徒に問い掛けていただき、情報誌をもう一度見直させる。

めあてを設定できるようにするための工夫②

○桐生市観光交流課の方には、事前に情報誌の評価と情報誌をよりよいものにするためのアドバイスをさせていただき、その様子をビデオで撮影し、生徒に視聴させることで、桐生のよいところを探すことへの意識を高めさせる。

改善点の修正方法を理解させ、意欲的に活動に取り組ませる

○書画カメラを用いて、改善点の修正方法を生徒全員に実際に見せることで、方法を理解させ、活動が円滑に行えるようにする。

情報誌の改善点を多面的な視点から捉えさせる

○改善点についてグループディスカッションすることで、異なる視点から改善点を捉え、多面的な見方ができるようにする。

改善点のポイントをまとめる

○本時に考えた改善点のポイントをまとめさせて、次回にパソコンで修正できるようにする。

指導例：『地域を好きになり、地域に学び、
地域の発展に関わろう』（第2学年 第30時）

指導のポイント

1 本時のめあてをつかむ。

○前時に実施した、これまでの学習を振り返るアンケートの内容を振り返る。

T：前回の授業で行ったアンケートの内容を覚えていますか？

S：はい、これまで総合の授業で行ってきたことの振り返りでした。

T：みなさんの回答を集計しましたので、結果を発表します。

S：どのような結果になったかな。

アンケート結果を集計し、生徒の実態を把握できるようにする

○アンケートには1年次に実施した質問と同じものも用意して、一年間の生徒の変容が数値でも分かるようにする。

めあて 今までの学習を振り返り、将来の自分の生き方や地域に対する思いをまとめてみよう。

個人で振り返る時間を設定し、自分と対話する機会を設ける

2 これまでの学習を振り返るアンケートの結果を整理し、分析する。

○アンケート結果を個別に分析する。

T：アンケートの結果を数値やグラフに表しました。また、記述内容もまとめました。この結果から、みなさんはどのようなことを考えますか？



<アンケート結果を

振り返っている様子>

S：桐生を好きと答えた人の割合が去年より増えたね。

S：自分もそうだけど、職場体験で新たな発見をできた人が多いね。

T：ワークシートに自分の考えをできるだけ多く書き出してみよう。

○個別に分析した内容を発表し合い、集団や学級全体で共有する。

T：4人グループになって、自分の考えを発表し合ってください。



<班別での発表の様子>

S：桐生の魅力的なところをたくさん知ることができて、改めて桐生はよい街だと思ったよ。

T：各班で出た意見の中で、他の班の人たちにもぜひ聞かせたいという意見を発表してください。

S：職場体験で分かったことを情報誌にまとめたことで桐生の魅力を今まで以上に知ることができたけど、少子高齢化などの課題もあるから、それについて考えていく必要があると思いました。

○アンケート結果を分析しやすいように、数値やグラフに表すとともに、記述で答えたものも全員の生徒で共有できるように資料を作成する。

個人の考えを発表し、思考を広げさせる

○桐生の魅力や課題について、個別に分析したことを班で発表して、新たな視点に気付けるようにする。

○桐生の魅力だけでなく、課題にも意識を向けさせ、将来、課題を解決していこうという考え方ができるようにする。

3 本時のまとめ・振り返りをする。

○これからの自分の生き方や桐生に対する思いを表現する。

☆桐生のたくさんの魅力を私たちも守っていきたいと思うし、桐生が更に暮らしやすい街になるように、自分にできることを考えて行っていこうと思いました。

☆私たちが桐生の魅力をたくさんの人に伝えていくことが大事だと思います。

☆職場体験学習に参加する前は、桐生の発展について何も考えずに暮らしていたけど、今は桐生のためになることをしていきたいと思うようになった。

地域に対する思いを、自分の生き方に広げさせる

○桐生に対する思いをまとめることで、桐生をよりよくしたいという気持ちをもつ生徒の育成につなげていく。

○桐生をよりよくしたいという気持ちが、将来の自分の生き方に表れるように、桐生を好きな生徒の育成につなげていく。

総合的な学習の時間学習指導案

平成31年4月～令和元年11月 第2学年 指導者 青山 崇

I 単元名 地域を好きになり、地域に学び、地域の発展に関わろう

II 本単元の学習

本単元は、地域の魅力や課題について追究し、地域の魅力や課題解決への取組について情報誌にまとめ、地域の発展のために発信する。それらの活動を通し、生徒が将来に向けて自分の生き方や地域について見つめ直す学習である。

III 目標

職場体験や桐生に関わる人にインタビューをし、情報誌にまとめる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 桐生の魅力や課題をつかみ、自分なりに解釈したり探究したりするための知識や技能を習得している。 (知識及び技能)

イ 桐生の魅力や課題に対して、自分はどのように向き合っていくかという視点を基に、課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 (思考力・判断力・表現力等)

ウ 桐生の魅力や可能性などについて情報誌としてまとめ、桐生に暮らす人や桐生を訪れる人に発信することを通して、桐生の人々や探究を共にする仲間と交流し、学び深めようとしている。 (学びに向かう力・人間性等)

IV 指導計画 ※別紙参照

V 本時の展開 (3/30)

- ねらい 桐生の魅力や課題をウェビングする活動を通して、桐生の魅力や課題の関連性に気付かせ、理解を深めさせる。
- 展開

学習活動 (分)	○ : 留意点	点線囲 : 評価	☆ : 振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。(5分)	○職場体験を行う事業所やその職業について確認する。		
めあて みんなが感じた桐生の魅力や課題を関連付けて、ウェビング図にまとめてみよう。			
2 桐生の魅力や課題を個別に考える。(10分)	○今、自分が感じている桐生の魅力や課題を、順序を付けて書くように促す。 ○桐生の魅力や課題を書けない生徒には、前々時に配布した資料を参考にするよう、助言する。		
3 桐生の魅力や課題をグループで考える。(10分)	○一班4人のグループを作らせ、班員で意見を交換させる。 ○互いに考えたことを伝え合わせ、個別で考えた意見とは別の意見があれば付け足しをするように促す。		
4 桐生の魅力や課題についてクラス全体でまとめる。(20分)	○桐生の魅力や課題について発表したものを板書しながらウェビングする。 ○関連を意識して発表するように促す。 ○各班の発表内容をワークシートに書き入れさせる。		
桐生の魅力や課題において、それぞれについて関連性を見だし、桐生の魅力や課題について新たに発見したことを記述している。 <ワークシート(1)>			
5 本時のまとめ・振り返りをする。(5分)	○ウェビング図にまとめて感じたことをワークシートに書くように促す。 ☆何もないと思っていた桐生に、こんなにもたくさんの魅力があることに改めて気付いたな。もっとPRしていくべきだよ。 ☆ウェビング図にまとめてみると桐生の課題が見えてきたな。課題を解決すれば、人口も増えて町が活性化できると思うな。		

V 本時の展開 (9/30)

- ねらい 職場体験を行う事業所の特徴や、桐生市観光交流課や桐生市社会福祉協議会の方の話から新たに得た情報を整理し、事業所の魅力や課題をより深く理解できる質問になるように再考させることで、事業所への質問と桐生の魅力や課題の関連に気付かせる。

2 展開

学習活動 (分)	○ : 留意点	点線囲 : 評価	☆ : 振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。(5分)	○職場体験を行う事業所の新たな魅力の発見や課題解決への取組に迫る質問になるよう、再考の仕方について説明する。		
	めあて 桐生の新たな魅力の発見や課題解決への取組に迫る質問になるように、質問の内容を再考しよう。		
2 ペアで模擬インタビューを行い、質問を評価し合い、改善点を考える。(15分)	○事業所の人になったつもりで質問に対する回答を考え、評価するように促す。 ○評価する際には、観点に準じて、ワークシートに評価を記入するように促す。 ○改善点はポイントだけ書くように促す。		<p>〈評価の観点〉</p> <ol style="list-style-type: none">1. すぐに答えられる2. まあまあ答えられる3. なかなか答えられない4. 事業所の人でないと答えられない
3 同じ事業所、同じ職種同士で、模擬インタビューと質問の評価を行う。(15分)	○同じ職種の視点から、これまでに調べた知識を基に質問の回答を考え、評価するように促す。		
4 質問内容の最終案を考える。(10分)	○桐生の魅力や課題解決への取組に迫る質問になるように、再考するように促す。		
	職場体験を行う事業所の魅力や課題解決への取組をより深く理解できる質問になるように再考し、事業所への質問と桐生の魅力や課題の関連に気付いている。		〈ワークシート(2)〉
5 本時のまとめ・振り返りをする。(5分)	○質問を再考するに当たって気付いたことをワークシートに書くように促す。 ☆事業所の魅力や課題を詳しく知ることが、実は桐生の魅力や課題を追究することに関係があるのだな。 ☆質問を改善するために事業所の情報を集めていると、お店が桐生のことをPRしていることに気付いた。のこぎり屋根についてもっと詳しく聞いた方がよいと思った。		

V 本時の展開 (25/30)

- ねらい 校長先生と桐生市観光交流課の方に情報誌を評価してもらい、アドバイスを基に再考することを通して、桐生の魅力をより効果的に伝える情報誌にするための改善点を考えさせる。

2 展開

学習活動 (分)	○ : 留意点	点線囲 : 評価	☆ : 振り返りの子供の意識
<p>1 本時のめあてをつかむ。(10分)</p> <p>○桐生市教育委員会の基本指針である「桐生を好きな子どもの育成」を踏まえ、桐生の魅力を十分アピールした情報誌に仕上がっているか、校長先生に評価してもらい、アドバイスをいただく。</p> <p>○桐生市観光交流課の方にも情報誌の評価をしてもらい、よかったところと改善するためのアドバイスを事前にビデオ撮影し、生徒に見せる。</p> <p>○よかったところと改善するためのアドバイスは、パワーポイントを使ってまとめ、紹介する。</p>			
<p>めあて 校長先生と桐生市観光交流課の方のアドバイスを基に、桐生の魅力をより効果的に伝える情報誌にするための改善点を考えよう。</p>			
<p>2 アドバイスを基に、情報誌の修正方法について、教師の説明を聞く。(5分)</p> <p>○書画カメラを用いて、修正の仕方を実演する。</p> <p>○修正部分は赤色で情報誌に直接書き込むように指示する。</p> <p>○改善点を考えられない生徒には、改良するためのアドバイスを参考にするように促す。</p>			
<p>3 情報誌の改善点について、グループで考える。(25分)</p> <p>○同じページや職種で組み合わせたグループを作る。</p> <p>○アドバイスを基にして、改善点についてディスカッションするように促す。</p> <p>○他の班と意見交流し、全体で共有できそうな考え方について書画カメラを用いて紹介する。</p>			
<p>桐生の魅力をより効果的に伝える情報誌にするための改善点を考え、記述している。 〈ワークシート(2)〉</p>			
<p>4 本時のまとめ・振り返りをする。(10分)</p> <p>○改善点のポイントをワークシートに書くように促す。</p> <p>☆読む人の興味を引きつけるキャッチコピーを考えることができたぞ。</p> <p>☆働いている人の「桐生が好き」という思いを情報誌を読んでもくれる人に伝えたいな。</p>			

V 本時の展開 (30/30)

- ねらい 今までの授業を振り返ることで、地域に向けた思いをまとめ、地域の発展のために自分にできることを考えさせる。
- 展開

学習活動 (分)	○ : 留意点	点線囲 : 評価	☆ : 振り返りの子供の意識
<p>1 本時のめあてをつかむ。(5分)</p> <p>○前時に実施した、これまでの学習を振り返るアンケートの内容を振り返らせる。</p> <p>○アンケートの結果を分析することは、桐生の魅力についての理解を深め、これからの自分の生き方を考えたり、桐生への思いを深めたりすることにつかながっていくことを説明する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"><p>めあて 今までの学習を振り返り、将来の自分の生き方や地域に対する思いをまとめてみよう。</p></div>			
<p>2 これまでの学習を振り返るアンケートの結果を整理し、個別で分析する。(10分)</p> <p>○アンケート結果を、具体的な数値やグラフ、表を使って提示する。</p> <p>○生徒が記述した内容は、資料にまとめて配布する。</p>			
<p>3 個別に分析した内容を発表し合い、集団や学級全体で共有する。(20分)</p> <p>○一班四人のグループを作らせ、班員で意見を交換させる。</p> <p>○互いに気付いたことを伝え合わせ、新たな発見があればワークシートに付け足すように促す。</p> <p>○各班の代表者に発表させ、学級全体で共有させる。</p>			
<p>4 本時のまとめ・振り返りをする。(15分)</p> <p>○これからの自分の生き方や桐生に対する気持ちの変化を表現するように促す。</p> <p>☆桐生のたくさんの魅力を私たちも守っていきたいと思うし、更に桐生が暮らしやすい街になるように、自分にできることを考えて行っていこうと思った。</p> <p>☆私たちが桐生の魅力をたくさんの人に伝えていくことが大事だと思う。</p> <p>☆職場体験学習に参加する前は、桐生の発展について何も考えずに暮らしていたけど、今は桐生のためになることをしていきたいと思うようになった。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"><p>これまでの授業を振り返り、将来の自分の生き方や地域について考えをまとめている。 〈ワークシート(2)〉</p></div>			

指導計画 総合的な学習の時間 第2学年
 単元名「地域を好きになり、地域に学び、地域の発展に関わろう」(全30時間計画)

目標	職場体験や桐生に関わる人にインタビューをすることで桐生の魅力や課題解決への取組について情報を収集し、情報誌にまとめる活動を通して、将来に向けてこれからの自分の生き方や桐生について見つめ直すことができるようにする。			
評価規準	(1) 知識及び技能 桐生の魅力や課題をつかみ、自分なりに解釈したり探究したりするための知識や技能を習得している。 (2) 思考力・判断力・表現力等 桐生の魅力や課題に対して、自分はどのように向き合っていくかという視点を基に、課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 (3) 学びに向かう力・人間性等 桐生の魅力や可能性などについて情報誌としてまとめ、桐生に暮らす人や桐生を訪れる人に発信することを通して、桐生の人々や探究を共にする仲間と交流し、学び深めようとしている。			
過程	時間	○ねらい めあて	☆振り返り (意識)	◇評価項目 <方法 (観点)>
つかむ	1	1. 探究課題 (学習対象) と出会い、単元のめあてを把握する。 ①探究課題と出会う。 ○1年次にとった生徒アンケートの結果を読み取り、話し合わせることを通して、生徒が感じている桐生の魅力や課題について共通理解を図らせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">みんなが感じた桐生の魅力や課題について共有しよう。</div>	☆全国に自慢できる織物工場や日本遺産がたくさんある。 ☆一見何もないように見える桐生だが隠れた名所が幾つもあるな。 ☆子供が減り、高齢化が進んでいるので、このままだと文化を引き継いでいけないかもしれないな。 ☆商店街にはシャッターの閉まったお店が多い。	◇桐生についての魅力や課題を自分なりの表現で記述している。 <ワークシート(1)>
	1	②単元のめあてを把握する。 ○桐生の魅力や課題解決への取組について、職場体験でより詳しく情報を収集するために、自分の適性や興味・関心のあることを考える活動を通して、自分と桐生との関連を意識させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">自分の適性や興味・関心のあることを考える活動を通して、将来の自分の生き方や桐生のためにできることを考えよう。</div>	☆ぐんまウェルカムサポーターズの一員として桐生の魅力を伝えるために、まず桐生について詳しく調べよう。 ☆食べ物に興味があるから飲食店で職場体験をして、桐生の魅力についてたくさんを知りたいな。 ☆桐生の課題についても知って、自分にできることを考えていこう。	◇桐生の魅力や課題を踏まえて、職場体験を通して学びたいことや将来の自分の生き方について記述している。 <ワークシート(1)>
	単元のめあて ぐんまウェルカムサポーターズの一員として、桐生の魅力や課題について追究し、情報誌にまとめ、桐生の発展のために発信しよう。			
追究する①	1	③追究の見通しをもつ。 ○桐生の魅力や課題をウェビングする活動を通して、桐生の魅力や課題の関連性に気付かせ、理解を深めさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">みんなが感じた桐生の魅力や課題を関連付けて、ウェビング図にまとめてみよう。</div>	☆何もないと思っていた桐生に、こんなにもたくさんの魅力があることに改めて気付いたな。もっとPRしていくべきだよ。 ☆ウェビング図にまとめてみると桐生の課題が見えてきたな。課題を解決すれば、人口も増えて町が活性化できると思うな。	◇桐生の魅力や課題において、それぞれについて関連性を見だし、桐生の魅力や課題について新たに発見したことを記述している。 <ワークシート(1)>
	2	2. 単元のめあてに基づき個人・グループ等の課題を設定し、追究する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 課題1 桐生の魅力を桐生に暮らす人や桐生を訪れる人に発信するために、桐生の魅力を詳しく知るにはどうしたらよいだろうか。 </div> ①課題設定	☆桐生は人口が減っているけど、お客を呼び込むために、どのような宣伝をしているのかな。 ☆お客様に喜んでもらうために、どのような工夫をしているのかな。 ☆桐生のイベントにどう関わっているのかな。	◇桐生の魅力や課題と関連させて、職場体験を行う事業所への質問を考え、記述している。 <ワークシート(2)>

	<p>○職場体験中に桐生の魅力についての情報を詳しく収集するために、職場体験で事業所の方にする質問の内容を考えることを通して、明確な課題意識をもって職場体験に臨めるようにさせる。</p> <p>職場体験で桐生の魅力についての情報を詳しく収集するために、職場体験を行う事業所への質問を考えよう。</p>	<p>☆環境を守るための工夫をどうしているのかな。</p>	
	<p>1 ②情報の収集</p> <p>○職場体験を行う事業所の特徴をインターネットを使って調べさせることを通して、事業所の魅力的なところや経営方針等を知り、基本的な情報を収集させる。</p> <p>職場体験を行う事業所の特徴を調べよう。</p>	<p>☆保育園にはこんな保育目標や理念があるのだな。 ☆メニューが豊富にあることがこのお店の特徴だな。 ☆自分が体験する職場はこんな工夫をしていたのか。</p>	<p>◇インターネットを使い、職場体験を行う事業所の特徴を調べ、記述している。 〈ワークシート・観察(2)〉</p>
	<p>2 ○桐生市観光交流課や桐生市社会福祉協議会の方を講師として招き、桐生市内の様々な事業所の取組や桐生の現状について話をしてもらうことを通して、桐生の魅力や課題についての情報を収集させる。</p> <p>桐生で働いている人の具体的な取組や仕事への思いについて知ろう。</p>	<p>☆県外から観光客を桐生に呼び込むために様々な工夫をしているのだな。 ☆高齢者の方が楽しむための企画がこんなにたくさんあるなんて初めて知ったな。 ☆桐生の将来のことを考えて仕事をしているのだな。</p>	<p>◇桐生市観光交流課や桐生市社会福祉協議会の方の話から、桐生で働いている人の取組や意識について感じ取ったことを記述している。 〈ワークシート・観察(2)〉</p>
	<p>1 ③整理・分析</p> <p>○職場体験を行う事業所の特徴や、桐生市観光交流課や桐生市社会福祉協議会の方の話から新たに得た情報を整理し、事業所の魅力や課題をより深く理解できる質問になるように再考させることで、事業所への質問と桐生の魅力や課題の関連に気付かせる。</p> <p>桐生の新たな魅力の発見や課題解決への取組に迫る質問になるように、質問の内容を再考しよう。</p>	<p>☆事業所の魅力や課題を詳しく知ることが、実は桐生の魅力や課題を追究することに関係があるのだな。 ☆質問を改善するために事業所の情報を集めていると、お店が桐生のことをPRしていることに気付いた。のこぎり屋根についてもっと詳しく聞いた方がよいと思った。</p>	<p>◇職場体験を行う事業所の魅力や課題解決への取組をより深く理解できる質問になるように再考し、事業所への質問と桐生の魅力や課題の関連について、気付いたことを記述している。 〈ワークシート(2)〉</p>
	<p>2 ④まとめ・表現</p> <p>○職場体験を行う事業所の特徴をプレゼンテーションソフトを使用して表現することを通して、桐生の魅力や取組への理解を深め、新たな課題に気付かせる。</p> <p>職場体験を行う事業所の特徴をプレゼンテーションソフトを使ってまとめよう。</p>	<p>☆事業所の特徴をまとめてはみたけど、職場体験で質問をしてもっと詳しい情報を集めてこよう。 ☆もっとデザインを工夫してみたいな。 ☆フォントを目立つものにした方がよいかもしれないな。</p>	<p>◇職場体験を行う事業所の特徴をプレゼンテーションソフトを使ってまとめている。 〈ワークシート(2)〉</p>
	<p><夏休みの宿題> *職場体験については学校行事で時数カウント。 ○夏休み中に、家族や親戚にインタビューを行い、桐生の魅力や課題解決への取組について情報収集を行う。 <職場体験実施 2日間> ○職場体験中に事業所の方、それに関わる方にインタビューを行い、桐生の魅力や課題解決への取組について情報収集を行う。</p>		
追究する②	<p>2 3. 新たな課題を見だし、継続して追究する。</p> <p>課題2 桐生の魅力を桐生に暮らす人や桐生を訪れる人に発信するための情報誌を作成するにはどうしたらよいだろうか。</p>	<p>☆どの位置にどの情報を載せると見やすくなるか、バランスを考えないとな。 ☆見出しのフォントや配色を工夫すると効果的かな。 ☆実際に旅行雑誌を見て、参考にしてみようかな。</p>	<p>◇桐生の魅力を伝える情報誌が、よりよくなるように課題を見付け、記述している。 〈ワークシート(2)〉</p>

	<p>①課題設定</p> <p>○桐生の魅力を発信する情報誌を作成するために必要なことを考え、どうすれば興味を引く情報誌を作成することができるのか考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">桐生の魅力を発信する情報誌を作成するために何が必要か考えよう。</div>		
	<p>1</p> <p>②情報の収集</p> <p>○インターネットを使ったり、旅行雑誌を参考にしたりして、桐生の魅力を効果的に表現するための情報を収集させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">桐生の魅力を発信する情報誌を作成するためにどのような工夫をすればよいか考えよう。</div>	<p>☆職場体験で調べた情報を整理して、旅行雑誌みたいなキャッチコピーを考えてみようかな。</p> <p>☆見やすい、伝わりやすい表現方法をまねしてみよう。</p>	<p>◇桐生の魅力を効果的に表現できるように、気付いたことを記述している。</p> <p><ワークシート・観察(2)></p>
	<p>3</p> <p>③整理・分析</p> <p>○これまで収集した情報を整理し、職場体験を行った事業所のよさや新しく発見したことについてまとめることを通して、改めて桐生のよさに気付かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">職場体験でお世話になった事業所のよさや新しく発見したことについてまとめよう。</div>	<p>☆職場体験前よりも詳しい情報が増えたから、多くの人に知ってもらいたいな。</p> <p>☆これまでに調べたことをまとめてみると、改めて桐生のよいところが分かるな。</p>	<p>◇職場体験を行った事業所の魅力を整理してまとめることで、改めて桐生のよさに気づき、記述している。</p> <p><ワークシート・観察(2)></p>
	<p>3</p> <p>○幾つかの事業所を1～2ページに集約し、情報誌として編集することを通して、多くの桐生の魅力について理解し、桐生への思いを深めさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">桐生の魅力を発信する情報誌を作成しよう。</div>	<p>☆テーマごとに情報誌の紙面としてまとめると、桐生の魅力がより分かりやすくなるな。</p> <p>☆見やすい紙面になるように集約するのは大変だったけど、伝えたい情報にまとめることができたな。</p>	<p>◇桐生の魅力を整理し、情報誌を作成することで、桐生のよさを理解し、記述している。</p> <p><ワークシート・観察(2)></p>
	<p>2</p> <p>④まとめ・表現</p> <p>○情報誌としてまとめたものを発表し合うことを通して、様々な職場の魅力や課題解決への取組について理解を深め、新たな課題に気付かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">情報誌を発表し合い、それぞれの事業所の魅力や課題解決への取組について知ろう。</div>	<p>☆それぞれの事業所の魅力を、みんな工夫して表現していてすごいな。</p> <p>☆桐生の魅力が詰まった情報誌ができたので、たくさんの人に読んでもらいたいな。</p> <p>☆桐生の魅力や課題解決への取組をもっと多くの人に知ってもらいたいな。</p>	<p>◇それぞれの事業所の魅力や課題解決への取組について理解したことと、発表会をして気付いたことを記述している。</p> <p><ワークシート(2)></p>
追究する③	<p>1</p> <p>4. 新たな課題を見だし、継続して追究する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>課題3</p> <p>桐生の魅力を桐生に暮らす人や桐生を訪れる人に発信するにはどうしたらよいだろうか。</p> </div> <p>①課題設定</p> <p>○情報誌を配布するときの注意点を考えることを通して、安全に情報を発信するための課題と、桐生の魅力を十分にアピールするための課題を明らかにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">情報誌を配布するとき、どのようなことに気を付けなければならないか考えよう。</div>	<p>☆間違った情報を載せていたら、事業所に迷惑をかけてしまうな。</p> <p>☆事業所の住所や電話番号等の情報は、本当に情報誌に載せてよいのかな。</p> <p>☆発表会をしたけど、職場体験で知った事業所のよいところをうまく表現できなかったから作り直したいな。</p> <p>☆読みにくいところや間違えたところを発見したので、修正したいな。</p>	<p>◇安全に情報を発信するための課題と、桐生の魅力を十分にアピールするための課題を見付け、記述している。</p> <p><ワークシート(2)></p>

1	<p>②情報の収集</p> <p>○情報担当の先生に、個人情報の取扱いや情報を発信するときの注意点について話をしてもらい、安全に情報誌を配布するための情報を収集させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>情報モラルについて学び、情報誌を安全に配布することができるようにしよう。</p> </div>	<p>☆個人情報を情報誌に載せるには、事業所に確認を取るべきだな。</p> <p>☆情報を発信することには責任があるし、相手のことを考えて慎重にしなければいけないのだな。</p>	<p>◇安全に情報誌を配布するための方法について、気付いたことを記述している。</p> <p style="text-align: right;">〈ワークシート(2)〉</p>
1	<p>○校長先生と桐生市観光交流課の方に情報誌を評価してもらい、アドバイスを基に再考することを通して、桐生の魅力をより効果的に伝える情報誌にするための改善点を考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>校長先生と桐生市観光交流課の方のアドバイスを基に、桐生の魅力をより効果的に伝える情報誌にするための改善点を考えよう。</p> </div>	<p>☆読む人の興味を引き付けるキャッチコピーを考えることができたぞ。</p> <p>☆働いている人の「桐生が好き」という思いを情報誌を読んでもくれる人に伝えたいな。</p>	<p>◇桐生の魅力をより効果的に伝える情報誌にするための改善点を考え、記述している。</p> <p style="text-align: right;">〈ワークシート(2)〉</p>
2	<p>③整理・分析</p> <p>○前時に考えた改善点を基に、情報誌を改善することを通して、桐生の魅力を発信する情報誌を完成させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>改善点を基に情報誌を改善し、完成させよう。</p> </div>	<p>☆桐生の魅力に関する情報を前よりも強調して、読む人に伝えやすくすることができたぞ。</p> <p>☆情報誌を読む人が見やすくなるように、ページごとの統一感も意識して作り直すことができたぞ。</p>	<p>◇桐生の魅力をより効果的に伝える情報誌になるように改善している。</p> <p style="text-align: right;">〈制作物・観察(2)〉</p>
1	<p>○完成した情報誌を地域や桐生を訪れる人へ発信する方法について話し合い、より効果的で、そして実現可能な発信方法を考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>桐生の魅力が詰まった情報誌を地域や桐生を訪れる人へ発信する方法を考えよう。</p> </div>	<p>☆ぐんまウェルカムサポーターズとして、桐生を訪れる人に情報誌を見てもらいたいから、駅や観光交流課に置かせてもらおう。</p> <p>☆公民館に置かせてもらおうと、地域の人が見ることができるね。</p>	<p>◇情報誌のより効果的な地域や桐生を訪れる人への発信方法を考え、記述している。</p> <p style="text-align: right;">〈ワークシート(3)〉</p>
1	<p>④まとめ・表現</p> <p>○作成した情報誌を、職場体験でお世話になった事業所や桐生市観光交流課、地域の公民館へ届ける際の渡し方について考え、桐生の魅力が詰まった情報誌を地域や桐生を訪れる人へ発信させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>職場体験の事業所や桐生市観光交流課、公民館に情報誌を届け、地域や桐生を訪れる人へ発信しよう。</p> </div>	<p>☆職場体験でお世話になった事業所に情報誌を置かせてもらえば、事業所に来る人に見てもらえるね。</p> <p>☆桐生市観光交流課で、情報誌を桐生を訪れる人に紹介してくれるとうれしいな。</p> <p>☆情報誌を公民館に置いてあることを地域の回覧板でお知らせできないかな。</p>	<p>◇事業所や桐生市観光交流課、公民館へ情報誌を届ける際の渡し方について考え、記述している。</p> <p style="text-align: right;">〈ワークシート(3)〉</p>
まとめ	<p>5. 単元全体の学習を振り返る。</p> <p>○今までの学習を振り返ることで、地域に向けた思いをまとめ、地域の発展のために自分にできることを考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>今までの学習を振り返り、将来の自分の生き方や地域に対する思いをまとめてみよう。</p> </div>	<p>☆桐生のたくさんの魅力を私たちがも守っていきたく思うし、更に桐生が暮らしやすい街になるように、自分にできることを考えて行っていこうと思った。</p> <p>☆私たちが桐生の魅力をたくさんの人に伝えていくことが大事だと思う。</p> <p>☆職場体験学習に参加する前は、桐生の発展について何も考えずに暮らしていたけど、今は桐生のためになることをしていきたいと思うようになった。</p>	<p>◇これまでの授業を振り返り、将来の自分の生き方や地域について考えをまとめている。</p> <p style="text-align: right;">〈ワークシート(2)〉</p>